

■ 多面評価・フィードバックシート ■

所属部署:

氏名:

1. 別途、通知される結果を基に、次の意欲・能力の16項目について自己評価と観察者評価の数値を記入してください。

意欲・能力	自己評価	観察者評価	意欲・能力	自己評価	観察者評価
01 積極実行力			09 現状分析力		
02 根気強さ			10 企画立案力		
03 責任感			11 決断の勇氣		
04 意欲・熱意			12 自己信頼性		
05 情報の活用			13 調整力		
06 専門的知識			14 リーダー性		
07 独創斬新性			15 指導力		
08 洞察力			16 折衝力		

2. 左の表と『複眼評価観察』の「4. 相互観察による自己評価・観察者評価」の結果から、意欲・能力の16項目を以下の4つの領域に配置してください。

自己評価・低 観察者評価・高・C	自己評価・高 観察者評価・高・A
自己評価・低 観察者評価・低・B	自己評価・高 観察者評価・低・D

3. 『複眼評価観察』のP2.『8. 職務行動評価』から、数値の高い行動と低い行動をそれぞれ10個書き出してください。

得点の高い行動	得点の低い行動
1.	1.
2.	2.
3.	3.
4.	4.
5.	5.
6.	6.
7.	7.
8.	8.
9.	9.
10.	10.

4. 上記の2や3の結果を基に以下の欄を記入してください。

あなたがA欄に記入した意欲・能力は自他共に高い評価を得ています。この意欲や能力をどのような場面や状況で、誰に対して・何に対して行使しているか、具体的な事例を書き出してください。	B欄に記入した意欲や能力についてはあなたも観察者も共にあまり発揮できていないと考えられています。具体的にどのような場面や状況が思い当たるかを整理してみてください。	あなたはC欄に記入した意欲や能力について特別意識することは少ないかも知れませんが、周囲は高く評価しています。C欄の意欲や能力を発揮している場面や状況、対象者や対象物を振り返ってみてください。
あなたはD欄に記入した意欲や能力を常日頃から発揮していると認識していますが、周囲の人たちは異なる受け止め方をしています。あなたがD欄の意欲や能力を誰(あるいは何に対して)に対して、どのような場面や状況で発揮・行使しているかを振り返って、整理してください。	D欄の自己評価と観察者評価の数値に差が生じている原因や背景を考えてみてください。観察者は実際にあなたが意欲や能力を発揮している場面に立会い観察している場合と、意欲や能力の発揮の結果・成果・出来栄からあなたの意欲や能力を捉えている場合があります。	

5. ここまで整理してきた内容を基に以下の欄を記入してください。

A欄とC欄の意欲・能力はあなたにとっての「強み」です。今後、A欄の強みに加え、これまであまり意識してこなかったC欄の意欲や能力をどのように職務やマネジメントに活かしていくかをまとめてみてください。	B欄の意欲・能力はあなたが自身が気づいている「弱み」です。D欄の意欲・能力は周囲の受け止め方から結果としてあなたの「弱み」になっています。今後、弱みを補い克服するためには、どんな点に意識を向け、何を身に付け、どのような行動が必要なのかを整理してみてください。会社や上司に要請するものがあれば、それも記入してください。
--	--